

## PM資料ガイド

項目	Electronic Data Interchange ( EDI )	Rev.	年月日	作成
	エレクトリック データ インターチェンジ	0	04.03.31	挾間啓之
対象	一般			
視点	基本解説			

### Electronic Data Interchange ( EDI )

EDI 用語は今では常識語となっており、多くの企業やベンダーが WEB で解説、広告、宣伝を行っている。その中の代表的な用語解説を記載する。

1 . WEB 上での用語解説で代表的な argo21 ( [http://www.argo21.co.jp/edi/edi\\_term/](http://www.argo21.co.jp/edi/edi_term/) ) では企業間電子データ交換のこと。異なる企業間で受発注や請求・支払いなどの商取引データを、標準的な規約に従って、ネットワークを介してコンピュータ間で直接やり取りする。EDI を導入することにより、紙の伝票などを郵送したり、FAX したりする場合と比べて、ペーパーレス化による紙資源の節減、受注内容の入力業務が不用になることによる人件費の削減や入力ミスの解消など、発注業務の簡素化、スピード化、確実化を図ることができる。

2 . 日立システム社 ( <http://ew.hitachi-system.co.jp/w/EDI.html> ) では、もう少し詳しく説明している。

EDI ( Electronic Data Interchange ) とは、商取引に関する情報を標準的な書式に統一して、企業間で電子的に交換する仕組み。受発注や見積もり、決済、出入荷などに関わるデータを、あらかじめ定められた形式にしたがって電子化し、専用線や VAN などのネットワークを通じて送受信する。紙の伝票をやり取りしていた従来の方式に比べ、情報伝達のスピードが大幅にアップし、事務工数や人員の削減、販売機会の拡大などにつながる。データ形式やネットワークの接続形態は業界ごとに違うため、他の業界の企業との取引を EDI 化するのは難しい。最近ではインターネットの普及に伴い、Web ブラウザや XML などインターネット標準の技術を取入たり、通信経路にインターネットを用いることが増え、業界を超えた標準化、オープン化が進行している。

上記説明で用語の意味は殆ど理解出来るが、社団法人 日本機械工業連合会と財団法人 エンジニアリング振興協会が平成 7 年 3 月発行した CAE/PMS 統合化に関する調査研究資料に同じ用語の解説があるので参考に記す。WEB が活用されていない時代の解説としては面白い。

3 . EDI とはコンピュータを介して各種の取引データを電子的に交換すること。

EDI 定義は、異なる組織間で、取引のためのメッセージを、通信回線を介して標準的な規約 ( 可能な限り広く合意された各種規約 ) を用いて、コンピュータ ( 端末を含む ) 間で交換すること。ただし、取引データ、技術データ、管理データ等のエンジニアリング業務に関わる全てのデ

ータを対象とする。なお、当面は通信回線以外の電子データ保存媒体によるデータ交換も許容する。また、電子メールのような通信規約（伝送制御手順、ファイル転送手順）だけで交換が可能なものは対象外としてビジネス規約が取り決められているものを対象としている。適用分野としては、C I - N E T（建設業界）、E D I F A C T（エンジニアリング業界）等におけるカタログ情報やC A Dデータ交換など。銀行間の商取引、運輸関係の座席予約等。統合化の過程で、設計段階でのE D I化（図面、データシート、積算書、仕様書、技術図書、設計変更書など）が普及すれば、統合化業務でのメリットは大きい。導入方法としては、E D I化対象業務の決定、関連する社内システムの調査、E D I標準フォーマットの決定、社内への説明（データ所管部署の了解）、社内の運用方法の検討、相手企業との協議、トランスレタの購入、システム構成・機器・V A N業者の検討、システム開発、変換プログラムの作成、利用の手続き、通信機器の準備、テスト、運用マニュアルの作成、実施などがある。

現在では以下の用語も良く使われているので、参考に記す。

#### 4 . E D I F A C T（U N / E D I F A C T）

**【United Nations rules for Electronic Data Interchange For Administration, Commerce and Transport】**

直訳すると「行政、商業、運輸の為の、電子データ交換に関する国連規則集」、つまりは国際的な電子データ交換に関する規則集のことで、国連 / 欧州経済委員会（U N / E C E）により策定されました。E D I F A C T は標準メッセージ集（注文書や請求書など、商取引でやり取りされる様々な書式を、より広く利用できるように可能な限り標準化したもの）や E D I F A C T シンタックスルールなどで構成され、E D I F A C T のシンタックスルールは国際標準化機構（I S O）に登録されています（I S O 9 3 7 5）。

#### 5 . インターネット E D I

インターネット環境における E D I 全般を指す。ファイル転送型、メール転送型、Web型などがあるが、一般的には人間が介在せずにコンピュータ間で自立的にデータ交換を行うタイプの E D I を指して、インターネット E D I と呼ぶ場合が多い。

< 参考図書、文献 >

エンジニアリング能力の強化に関する調査研究報告書（1）CAE/PMS 統合化に関する調査研究 発行平成7年3月 発行者 社団法人 日本機械工業連合会 財団法人 エンジニアリング振興協会  
[http://www.argo21.co.jp/edi/edi\\_term/](http://www.argo21.co.jp/edi/edi_term/)  
<http://ew.hitachi-system.co.jp/w/EDI.html>